R I. 第2620地区　静岡第2分区
三島西ロータリークラブ
週報
第2118号

事 務 所　静岡県三島市中央町4番9号　2F
TEL〈055〉976－6351　FAX976－6352
例 会 場　静岡県三島市本町6－35　呉竹
TEL〈055〉975－3210
会　長　西本　和夫　　幹　事　宇田川　茂

広重版画より　三島　朝霧

第2181回例会

2017.10.12晴

司　　会　花房孝光君

ロータリーソング　「我等の生業」
指揮　鈴木郁夫君

"こんにちは、ようこそ"

ゲスト　芦川　渉さん（見晴学園・三田君のゲスト）

会長挨拶

会長　西本和夫君

皆様、こんばんは。本日は夜間例会ですが通常例会です。朝のニュースで共同通信社の衆院選序盤の電話世論調査では、与党が300議席超をうかがう情勢となったとの事で、政権は緩みを警戒している。との記事が出ていました。良くても悪くても選挙は大変だとなと思います。私の処にも某議員の怪文書が届きました。そんな事までと思いますがいかがでしょうか。

以前、Jアラートの話をしましたが9月15日の2回目のミサイル発射の時ですが、たまたま北海道に居た関東圏の女性からのマンガがツイッター上で話題になりました。電車の中で場内アナウンスがあり、乗客がざわめきだしたようです。理由は携帯電話のJアラートが鳴らないからで、みんな携帯電話を見ていて‥しばらくして一斉にJアラートが鳴った時に電車の乗客たちは笑ったそうです。笑うんだ・と思ったそうです。当然、恐怖や不安がある時に携帯電話が一斉に鳴ったのに笑うんだ・と。2回目のミサイル通過で危機感が薄れてしまったのかと彼女は思ったそうです。

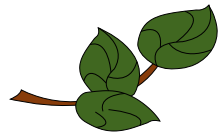
酒田東RC創立記念式典の時に隣にいた稚内RCの土門会長との話の中で北方領土問題や目の前がロシアでも全く不安や恐怖感はないと言っていました。私達が思っているよりも冷静なようです。

日本は世界で一番の平和な国ですが、もしかして平和ボケかもしれません。

出席報告

	出席総数	出　席　率	メーク アップ	修正 出席率
前々回	34/40	85.00%	38/40	95.00%
今　回	28/37	75.68%	会員総数	45名

欠席者　赤池君、大石君、川名君、鈴木（正）君、須田君、千葉君、古屋君、森崎君、米山君



幹事報告

幹事　宇田川茂君

①本日の卓話　三田　明宏君
　外部卓話「見晴学園」
②15日（日）みはらしフェスティバルボランティア活動
　前日の準備と併せて協力お願いします。
③21日（土）ポリオ撲滅運動の募金活動
　場所・時間　－　イトーヨーカ堂三島店　13時～15時
④米山功労クラブ感謝状の表彰を受ける

2017～2018年度
国際ロータリー会長
イアンH.S.ライズリー

ロータリー：変化をもたらす

おめでとう

会員誕生日　窪田君、宇田川君
入会記念日　窪田君、矢野君
奥様誕生日　西本君
結婚記念日　前田（邦）君、木村君、古川君

スマイルボックス

◆遠藤（武）君、昨日、ひ孫が生まれました。これで孫6人、ひ孫8人になりました。嬉しい反面、お小遣いがたくさん出るでしょう。頑張ります。

◆窪田君、前回例会は、秋田銘木センターに買い付けで欠席してすみませんでした。酒田東ロータリー50周年記念祝賀会で会長・幹事と大変お世話になり楽しい2日間を過ごさせていただきました。又、参加した皆さんありがとうございました。最後に西本会長、写真をありがとうございます。

◆伊丹君、10月だというのに暑い日が続きますね。夏物を出したり冬物を出したり大変です。本日は当社のゴルフコンペの書類が出来ましたのでポケットに入れておきました。

表　彰

米山功労者
メジャードナー
小野金彌君

米山功労者
森崎祐治君

卓　話

見晴学園について

見晴学園　芦川渉さん

皆様こんばんは。ただいまご紹介いただきました社会福祉法人見晴学園みはらしの里主任の芦川渉と申します。また今年度、当法人の一大イベントであります「みはらしフェスティバル」の実行委員長を務めております。西本会長をはじめ、三島西ロータリークラブの皆様には日頃より、社会福祉法人見晴学園に対し、暖かいご支援とご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。

さて、当法人につきましては、昭和30年、三島市・沼津市などの静岡県東部地区の民生委員・児童委員協議会により県内初の民間法人による知的障害児（精神薄弱児）施設を三島市に設立することを決議し、行政機関の協力のもと設立したものであります。施設を要望する関係者の声を受けて民生委員の皆様が自らの組織活動として施設づくりに取り組んだことは、地域福祉活動の推進役としての素晴らしい活動であり、民生委員の組織的な協力により実現した福祉施設はこの前にも後にもないのではないかと考えております。昭和32年に法人認可を受け、当初は障害児の施設でありましたが、現在は障害者支援施設としてご利用者が自立した日常生活、社会生活を営むことが出来るよう、各種療法や生産活動等の機会を提供し、三島市をはじめ静岡県東部地区の障害福祉施策の推進に寄与しているところであり、また、創立60周年を迎え今年の1月25日には記念式典を開催したところであります。現在、障害者支援施設としてみはらしの丘・みはらしの里、共同生活援助事業所としてグループホームを、また、就労継続支援B型事業所の運営、指定相談支援事業所として、ふぁいんを運営しているところであります。更には平成30年4月1日の事業開始を目指し、現在、三島市東大場に20名定員の生活介護事業所を建設しております。障害者総合支援法をはじめとする新法の制定や直近では障害者差別解消法が昨年の4月から施行されるなど、障害福祉施策を取り巻く環境は大きく変化しており、こうした動向等を踏まえ、行政をはじめ関係機関と連携して事業を推進していきたいと考えております。

<みはらしフェスティバルの歴史について>

今回で19回目を数えるみはらしフェスティバルですが、法人設立当初は親子運動会という形で、イベントを運営しておりました。しかしご利用者の障害特性による身体機能の変化等の理由により19年前から現在のイベントスタイルに切り替えて運営をしている状況であります。また、フェスティバル開始当初は法人内で小さなイベントとして開催をしておりましたが、地域の皆様との交流の機会と地域に開かれた（地域の皆様に知っていただける）施設となることが出来るよう現在の形に徐々に推移していきました。昨今では来場者数約600人を見込む法人の一大イベントとなっておりますが、これもひとえに、行政機関及び地域の皆様方、さらには三島西ロータリークラブの皆様方をはじめとした、多くのボランティアの方々のご尽力によるものと感謝申し上げる次第です。

最後となりましたが、三島西ロータリークラブ様、並びに会員の皆様のますますのご健勝とご活躍を心より祈念申し上げ、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。

（週報担当:椙山　豊）